

令和元年度を振り返って

今年度一年を振り返ってみますと、茨城国体のような華やかな事業とは反して、秋は台風による甚大な被害、年度末は新型ウィルスの蔓延など自然界の猛威により、いかに人類が無力な存在なのかと思ひ知らされた1年でした。被災された方々、罹患された方々にこの場を借りてお見舞い申し上げます。

さて、そのような中、当協会では文化の違いを認め合い、互いを尊重し合いながら同じ人類として暮らすことができる多文化共生社会の実現に向けて様々な事業を展開してまいりました。

今後は国際化がさらに進むことが予想されることから、次世代を担う子どもたちのため、姉妹都市中学生交流事業や小中学校等国際理解支援事業を通して世界で渡り合えるグローバル人材の育成にも一層力を注いでまいります。

また、その中学生交流事業をはじめとする米国テネシー州オークリッジ市との姉妹都市交流は、今年で30周年という節目の年になります。これまで継続していることは全国的にも珍しいことです。これもひとえに多年にわたる皆様のご支援及びご協力の賜物と感謝申し上げます。引き続き皆様と共に歩む国際交流事業へのご理解をお願いいたします。



那珂市国際交流協会 会長 大和田 和男



姉妹都市中学生交流事業（派遣）



小中学校等国際理解支援事業

令和元年度実施事業報告

姉妹都市中学生交流事業2019



受入

令和元年7月1日（月）から7月8日（月）までの8日間、米国テネシー州オークリッジ市より、中学生10人と引率教諭2人が那珂市を訪れました。8月にオークリッジ市へ派遣される中学生の家庭にホームステイしながら、市内見学や中学校、高校への参加、日本文化体験などを楽しみました。



派遣

令和元年8月17日（土）～8月27日（火）には市内学園の中学生10人と引率2人がオークリッジ市を訪問し、再会を喜びました。

オークリッジ市では、中学校への参加や市内の国立研究所等の見学、新しくなった友情の鐘をホストの子と一緒に鳴らすなど様々なことにチャレンジし、オークリッジの方々のあたたかさややさしさを感じながら友情を深めました。



令和元年度姉妹都市交換交流事業参加者

高橋 凜(第一中・7年)	/	Amelia Everitt(R・8年)	勝山 紗帆(第三中・7年)	/	Sophie Sluss(R・8年)
阪場 俊介(第二中・8年)	/	Aiden Franklin(J・8年)	関口 望々子(第四中・7年)	/	Aaliyah Herron(J・8年)
片岡 美咲(第三中・8年)	/	Maria Sass(R・8年)	吉澤 菫(第四中・7年)	/	Libby Peterson(R・8年)
鈴木 雫(第三中・8年)	/	Kaitlyn Adams(J・8年)	宇田川 菜穂(瓜連中・7年)	/	Isabella Scott(J・8年)
関 笙真(第三中・8年)	/	Wesley Alig(J・8年)	関 千穂(瓜連中)※	/	Jaime Downs(R)※
根本 結衣(第三中・8年)	/	Daphne Seay(R・8年)	益子 隆明(市民協働課)※	/	Lexie Scott(J)※

J:ジェファーソン中学校 R:ロバーツビル中学校 ※:引率

多文化共生セミナー

今年度は5月にイラン出身のエブラヒム・マスコートさん、12月にハイチ出身のセドリック・チャールズさんに来ていただきました。毎回興味深いお話を聞け、交流の時間も非常に楽しく過ごさせていただきました。



イラン編



ハイチ編



ペルー編

令和2年2月8日（土）には、残念ながら10月の台風の影響で中止となってしまった、ペルー編を改めて開催しました。ペルー出身の新垣マリアさんを講師にお迎えし、ご持参下さった沢山の民族衣装や民芸品を用いながら、ペルーの地理や食文化の紹介をしていただきました。素敵なペルーのダンスもご披露頂き、大いに盛り上がりしました。講演後の交流会でも講師に熱心に質問している参加者も多く、50人の参加者にも大満足のセミナーとなりました。



サポート委員研修

令和元年6月4日（火）、JICA 筑波国際センターを訪問し、国際協力についての理解を深めました。また、デンマーク大使館を訪問し、デンマークと日本の繋がりや歴史について、丁寧にご説明いただきました。



国際交流のつどい～韓国料理教室～

令和元年6月26日（水）に、市内外の外国人住民とともに、料理をとおして国際理解を深める外国料理教室を開催しました。今回は、日本でもポピュラーな韓国の料理をテーマに、講師の李鎔姫（イ・ヨンヒ）さんに品を紹介していただきました。参加した外国人市民を含む36人は、料理をとおした異文化体験・異文化交流を楽しみました。



講師の李鎔姫（イ・ヨンヒ）さん



調理の様子



韓国風そうめん、ナムル、チヂミ

日本語教育ボランティア養成講座～初級～

日本語を母語としない人へ日本語を教える活動を行う日本語ボランティアを養成するため、日本語ボランティア養成講座（初級）を開講しました（9月14日（土）～12月7日（土）、全10回）。参加した30人の受講生は、県日本語教育アドバイザーの仙波美哉子先生のご指導のもと、日本語ボランティアに必要な日本語の基礎や指導方法等についての学習に取り組みました。



写真中央左の花束を持っている方が仙波先生

菅☆まち☆カフェ

令和元年11月3日（日）に開催された菅☆まち☆カフェにおいて、フェアトレードの啓発活動として、フェアトレード商品（コーヒーとチョコレート）の販売を行いました。来場していただいた幅広い方々にフェアトレードについて興味をもってもらえた良い機会となりました。



小中学校等国際理解支援事業

外国の言葉や文化に触れる機会の提供と、国際的理解や関心を深めるため、市内小中学校等に外国人講師を派遣しました。

令和元年10月24日（木）青遙学園那珂市立第二中学校

ラフマントさん（インドネシア）、新垣マリアさん（ペルー）、高岡麗さん（中国）が9年生（72人）を対象に、それぞれの出身国について紹介しました。



ラフマントさん（インドネシア）



新垣マリアさん（ペルー）



高岡麗さん（中国）

令和元年12月11日（水）ばら野学園那珂市立五台小学校

トウ・ティホン・リンさん（ベトナム）、シンディ・オクタ・クラリタさん（インドネシア）、高岡麗さん（中国）、トム・ギブさん（イギリス）が6年生（77人）を対象に、それぞれの出身国について紹介しました。



トウ・ティホン・リンさん（ベトナム）



シンディ・オクタ・クラリタさん（インドネシア）



高岡麗さん（中国）



トム・ギブさん（イギリス）

あなたの「使わない」「要らない」ものを誰かのために役立てようプロジェクト

あなたの「使わない」「要らない」ものを誰かのために役立てようプロジェクトは、書き損じはがきや使用済み切手、外国の紙幣・コインなどを集め、国際協力活動を行っている団体に寄附することで国際支援に協力するプロジェクトです。今年度もたくさんの方々にお持ちいただきました。これらは、県国際交流協会を通じて、国際協力活動を行うNGO等に寄付されます。

集まったもの

・未使用ハガキ(書き損じを含む)	839枚
・未使用郵便切手	161枚
・未使用プリペイドカード	1枚
・使用済み切手	5,097枚
・未使用テレホンカード	14枚
・使用済みテレホンカード	19枚
・外国の紙幣・コイン	302枚

ご協力ありがとうございました。



ようこそ
那珂市へ！

わがまちの外国人市民のみなさん

(人)			(人)		
アジア	イラン	1	アフリカ	ウガンダ	1
	インド	1		ガーナ	1
	インドネシア	3	ヨーロッパ	アイルランド	1
	スリランカ	4		英国	4
	タイ	15		イタリア	1
	韓国	29		ルーマニア	1
	朝鮮	3		ロシア	1
	中国	79	北アメリカ	米国	6
	台湾	4		メキシコ	1
	パキスタン	5	南アメリカ	ブラジル	3
	バングラデシュ	2		ペルー	2
	フィリピン	51			
	ベトナム	51			
	マレーシア	3			
	ミャンマー	6			

26か国 279人

(令和2年1月1日現在)

発行・問合せ先

那珂市国際交流協会事務局（那珂市市民生活部市民協働課内）

〒311-0192 那珂市福田1819番地5

電話番号：029-298-1111（内線263）

メールアドレス：shimin-k@city.naka.lg.jp

当協会の情報や活動の様子は、ホームページ又はfacebookでもご覧いただけます。

那珂市国際交流協会 facebook で 検索 または、

那珂市国際交流協会のホームページから



※ facebook は自分のアカウントを持っていないでも大丈夫。誰でも見ることができます。